

最終処分場の整備方針について

1. 次期最終処分場基本計画について

本年3月の第1回定例会 厚生消防常任委員会において、「次期最終処分場基本計画」について報告した中で、「第7期最終処分場の整備」と、「既存(第4期)最終処分場の嵩上げ」について検討中としていた。

2. 当該計画に基づく整備手法の比較について

昨年度末の当該計画の策定に基づき、「第7期最終処分場の整備」と「既存(第4期)最終処分場の嵩上げ」について、整備期間や概算事業費等を比較検討した。

項 目	既存(第4期)最終処分場嵩上げ	次期(第7期)最終処分場整備
整備期間	2ヵ年(R11～R12)	3ヵ年(R11～R13)
廃棄物埋立容量	115,100m ³	127,000m ³
埋立可能年数	12.3年	15年
概算事業費	15億円※	37.8億円

※遮水シート無しの場合 8億円程度

3. 整備方針の決定について

「第7期最終処分場整備」と「既存(第4期)最終処分場の嵩上げ」を比較検討の結果、次の通りに決定した。

○整備方針:「既存(第4期)最終処分場の嵩上げ」を本格的に調査・検討開始

○選定理由:

- ・事業費の大幅な削減
- ・整備期間が1年短い
- ・第6期最終処分場埋立終了予定の令和13年に供用開始可能

○留意点:埋立可能年数は「第7期最終処分場整備」より短い

4. 今後のスケジュール(予定)

- ・令和8年7月1日 第2回定例市議会最終日にて、予備設計費用について補正予算案提出
- ・令和8年8月 第4期最終処分場嵩上げ「予備設計委託業務契約」
- ・令和10年 第4期最終処分場嵩上げ「実施設計」
- ・令和11年～12年 第4期最終処分場嵩上げ「工事」
- ・令和13年 第4期最終処分場嵩上げ「供用開始」

次期(第7期)最終処分場整備及び、既存(第4期)最終処分場嵩上げの平面図及び断面図

第2期
18,520m²
H4~R2

管理棟

第1期
16,200m²
S59~H7

第4期
42,600m²
H12~H21

第5期
33,050m²
H20~供用中

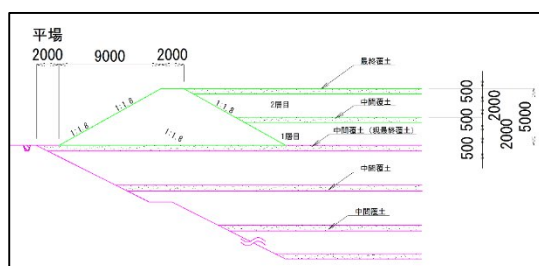
第6期
20,500m²
H29~供用中

第8期(予定地)
約20,000m²

第7期(予定地)
約20,000m²

2021年10月現在
S59 6/20
F1~17F 18F 20F
F1~60F 60F

第4期嵩上げ



第7期整備

